

安曇野市市民協働事業提案制度

事業名 ガーデンファーム(せんぜ畑)ライフを通じた地域の絆づくり事業

| | | | |
|-------------------|---|------|-----------------|
| 協働事業 実施団体名 | 安曇野をもっと元気にする会 | 安曇野市 | 市民生活部 地域づくり課 |
| 代表者名 | 三好 一賢 | 代表者名 | 課長 小林 一彦 |
| 活動拠点所在地 | 穂高有明 2105-879 及び穂高新屋区 | | |
| 事業実施総額 | 約 50 千円 | | |
| 事業実施日・期間 | 平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月 | | |
| 事業概要・成果 ・今後の展開 | <p>(事業の目的)</p> <p>近年は就農者の高齢化などにより、耕作放棄地が山際に留まらず住宅地付近にまで見られるようになってきて、雑草や害虫の発生等による住環境の悪化が懸念されています。</p> <p>そこで私達は、荒廃する住環境対策を地域での共通した課題と位置付け、現代版「せんぜ畑」として「ガーデンファーム」を提案し、地域と協働して課題解決を図るとともに、農家と非農家の理解を深め、コミュニティにおける地域の絆を育みたいと考えます。</p> <p>さらに、この活動は「農業の持つ多面的機能」である、農地を守り地域の交流促進、生きがい作り、癒しの提供、より健康な暮らしなど、付加価値を生み出すことから、安曇野暮らしの象徴として定住促進にも役立つものと考えます。このことから、本事業を通じて、協働による課題解決の取り組みの実践を広げ、以て協働の理解促進を図ることを目的とします。</p> <p>(実施内容)</p> <p>5 月 ガーデンファームを楽しむ人の「春の野菜づくり講演会」開催 (80 人参加)</p> <p>6 月 団体会員による「オープンガーデンファーム」実施</p> <p>10 月 ガーデンファームを楽しむ人の「秋の野菜づくり講演会」開催 (50 人参加)</p> <p>新屋地区にて「ハロウィン」イベント開催</p> <p>2 月 熊井明子さん講演会開催 (100 人参加) 「豊かな安曇野暮らし～ガーデンファームライフを楽しむ～」</p> <p>3 月 「ガーデンファーム紹介誌」発刊</p> <p>(成果)</p> <p>一般市民向けの 3 回に及ぶ講演会を通じて市内にはガーデンファームに関心を持ち親しみたいと考える皆さんが大勢いることがわかりました。また 10 月にはこれらの皆さんによる「Garden Farm Life of Azumino」の会が結成され、本事業の趣旨を踏まえて独自の活動が始まりました。ま</p> | | |

た熊井明子さんとも交流が深まり積極的に応援いただくことができました。この会は農家も非農家も区別なく交流する貴重な機会となり各々居住地における理解も深まるものと期待します。

(今後の展開)

この事業を通じて生まれた「Garden Farm Life Azumino」の会(21名)は事業趣旨を踏まえ、引き続き講演会、学習会、交流会等を実施します。また農家民泊事業、全国緑化フェア、都市農村交流、食育等の事業とも連携を図りつつ、豊かな田園生活の普及と安曇野への定住促進、地域コミュニティの形成など、協働により様々な課題解決に取り組み、実践を通じた協働の理解促進に努めます。

(H29.5) 講演会
春の野菜づくり

講師 吉田清志氏
体験発表
杉下久子氏
長澤雅子氏



(H29.10) 講演会
秋の野菜づくり

講師 吉田清志氏
体験発表
松尾園子氏



(H30.2) 講演会
豊かな安曇野暮らし
～ガーデンファームライフを楽しむ～

講師 熊井明子氏



| | 協働事業実施団体 | 市 |
|------|---|--|
| 役割分担 | 参加者呼びかけ、チラシ等配布 講師謝礼 取材、素材提供、レイアウト | 市施設の申込み 広報 ちらし、看板、資料等の印刷 講師折衝、謝礼 情報の募集 監修・校正・印刷 |